

令和 6 年小田原市議会 6 月定例会
建設経済常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
小田原宿なりわい交流館耐震改修工事について	商 業 振 興 課	1
地魚の魅力体感ツアー事業について	水 産 海 浜 課	2
復興事前準備推進事業について	都 市 計 画 課	3
急傾斜地崩壊対策促進事業（城山 D 地区）について	建 設 政 策 課	4

令和 6 年 6 月 18 日

小田原宿なりわい交流館耐震改修工事について

1 目 的

歴史的風致形成建造物であり、令和4年(2022年)に登録有形文化財にも登録された小田原宿なりわい交流館の維持・保全を図って利用者等の安全を確保し、かまぼこ通り周辺地区における情報発信・回遊拠点として、将来にわたり利活用を続けていけるよう、耐震改修工事等を実施する。

2 事業概要

なりわい交流館の長期的な利活用に向けて、令和4年度に耐震診断を実施し、その結果に基づき令和5年度(2023年度)に実施設計を行った。これを踏まえ、令和6年度(2024年度)に改修工事を実施する。

物件が登録有形文化財であることから、現状の外観保持を最優先に考慮し、壁補強等の改修工事を行う。

3 予算額

58,090 千円

内訳 委 託 料 工事監理業務

工事請負費 耐震改修工事

4 財 源

社会資本整備総合交付金（国1／2）

5 工 期

令和6年（2024年）8月～令和7年(2025年)3月

地魚の魅力体感ツアー事業について

1 目 的

小田原市公設水産地方卸売市場(以下「水産市場」という。)は、県内随一の取扱魚種の豊富さを誇り、相模湾沿岸の漁場から高鮮度の地魚が水揚げされ、独特の方法によりセリにかけられるとともに、全国各地から陸送で運び込まれた鮮魚も取扱われている。

本事業は、地魚及び水産市場、そこで働く人々の生業を地域資源として捉え、その魅力を体感できるツアーを開催することで、小田原の地魚が持つ魅力をさらに地域内外に広めるとともに、移住定住につながるきっかけとする。

2 事業概要

水産市場は買受人と呼ばれる、売買参加資格者のみが入場を許されている。そこで、一般の方を対象としたセリ見学と、地魚を朝食として食べられるツアーを開催し、普段体感することの出来ない特別な時間を提供する。

3 予算額

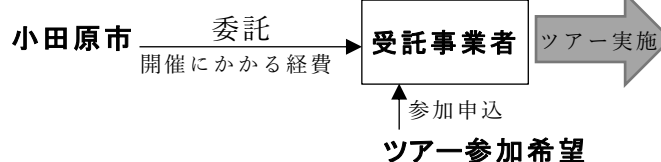
2,000 千円

内訳	報償費	ツアーガイド等への謝礼
	需用費	見学者及び説明者用ガイドマイクほか消耗品
	役務費	広告宣伝費(SNS 広告等)
	委託料	地魚の魅力体感ツアー事業運営

4 財 源

移住・定住・交流推進支援事業助成金（補助率 10/10）

5 事業スキーム図



水産市場セリ見学＆朝食ツアー

復興事前準備推進事業について

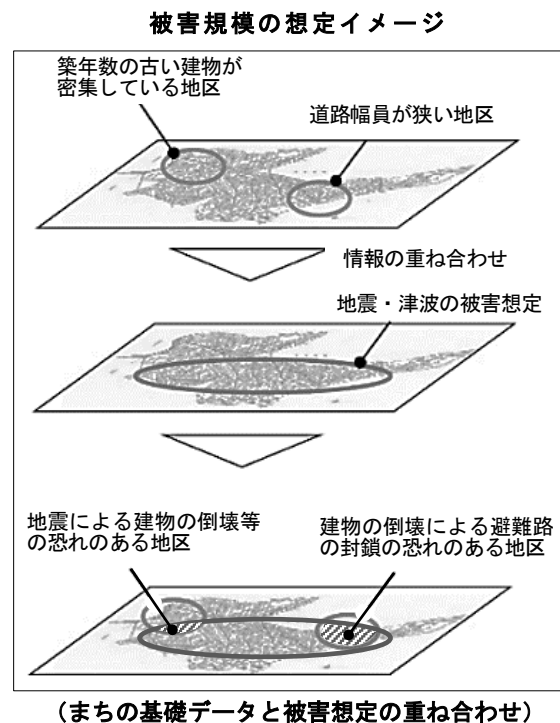
1 目 的

神奈川県西部地震等の大規模地震やそれに伴う津波災害、近年、発生頻度が高まっている豪雨災害など、大規模自然災害に対応するため、平時から災害の発生を想定し、被災後に迅速な復旧・復興を図るための事前準備として、被災規模に応じた復興まちづくりの目標や実施方針、目標の実現に向けた課題及び課題解決のための方策をとりまとめる「事前復興まちづくり計画」の策定に向けた取組を進める。

2 事業概要

令和6年度(2024年度)については、都市計画区域(市域全域)を対象に、都市計画基礎調査等の様々な資料からまちの現況を表す基礎データを整理し、被害想定と重ね合わせる(GISデータ)ことで、面的な復興が必要になると想定される区域を抽出し、計画策定の基礎資料を作成する。

被害想定は、地域防災計画で想定している災害(地震、津波、水害)を基本とする。



3 財 源

社会資本整備総合交付金 都市防災総合推進事業(防災・安全交付金)
(補助率1/3)

4 スケジュール

令和6年度(2024年度)	令和7年度以降(2025年度以降)
復興事前準備 基礎調査業務委託	・実務マニュアル作成 ・計画策定に係る有識者等からの意見聴取 ・市民との意見交換 ・事前復興まちづくり計画の策定

急傾斜地崩壊対策促進事業（城山D地区）について

1 目 的

県が実施する急傾斜地崩壊対策事業について、県と市町村が締結している協定に基づき、事業費の一部を負担する。

城山D地区については、関係地権者との合意に基づき、令和6年度（2024年度）当初予算で予定していた現況測量に加え、境界測量を実施して事業の推進を図る。

2 補正予算の事業内容

境界測量 延長 約165m 高さ 約10m

3 負担割合

20%

4 位置図

